

## 第10回 一步踏み出すこと

～ 関東地区高校生文芸大会（群馬県）に参加して ～

8月20日、群馬県で開催された第21回関東地区高校生文芸大会群馬大会に参加した文芸部2年奈良さんに話を伺いました。

*関東大会に参加することになった経緯を聞かせてください。*

詩の部門で「心」をテーマにした作品の募集があり、県の大会に応募しました。当日は参加できなかったのですが、後で関東大会に参加する作品の中に、私のものが選ばれたと聞いてとても驚きました。県大会では参加者がお互いに作品を鑑賞し合うのですが、その際にいただいたコメントには、「今の自分たちの感情が伝わってくる」「共感できる」などポジティブなものが多かったのです。多くの人に理解してもらえることができ、とてもうれしかったです。

*「無心」という作品を読ませていただきました。自分のイマジネーションを刺激されるような余韻の残る作品だなと思いました。どんな思いで作ったのですか。*

テーマになっている「心」は、いろいろな捉え方があります。自分の心を書こうと思って机に向かい、その時の思考を全開にして、自分の内なるものをそのまま書きました。最後の部分は、作者が結論づけるのではなく、読み手に想像の余地があったほうが良いということ意識しました。

*関東大会での様子を聞かせてください。*

100人ほどの参加者は、都県が混ざる形で10個くらいのグループに分かれて、一人ずつ自分の詩を朗読します。お互いに感想を言い合って、最後に一番いいと思う作品を決めてグループ賞が贈られます。朗読はとても緊張しましたが、前半と後半で雰囲気を変えるなどの工夫をしました。その朗読が良かったというコメントや、自分のねらいどおり「暗いイメージが伝わってきた」というコメントをいただきました。

他の参加者の作品は、ことばをかなり選んで、作りこんでいるなと感じました。人それぞれの中に世界観があって、それを上手に文字で表現しているなとも思いました。テーマである「心」の捉え方は様々で、こういう風を感じているのだ、こういう風に表現しているのだ、皆、感受性が豊かだなあと思いました。とても楽しい時間でした。関東大会に参加するという機会を得て、詩に限らず、創作に対する意欲を持てるようになりました。

今後はどういう活動をしますか。

自分が普段読んでいるのは、詩や短歌より小説であることが多いので、それにも挑戦してみたいと思います。時間はかかると思いますが、少しずつ書いていけたらなと思っています。直近では9月末締め切りのコンクールがあるので、それは短歌で応募してみようかなと思っています。

次の作品を楽しみにしています。文芸部に入ったきっかけはあるのですか。

本を読むことは好きで、中学生時代はライトノベルをたくさん読んでいました。最近は文学作品も読んでいます。顧問の先生に誘われて入ったのがきっかけです。一歩踏み出してみて良かったと思っています。



文芸部での活動の様子

ところで、中学生のとき、光陵高校のどんなところに魅力を感じていましたか。

部活動が活発だったことや、見学に来た時に図書室にある書籍類がとてもいいなあと思いました。

当時から図書室に関心があったのですね。入学してみて光陵高校はどうですか。

幅広い分野で活躍している人が多いなと思います。同じ学年にもフロアボールの日本代表となっている人もいます。

将来はどんなことを考えていますか。

大学の法学部への進学を考えています。今はまだ漠然としていますが、大学4年間で具体的に考えていきたいと思っています。あるゲーム会社の法務部の話をネットで知り、とてもおもしろいなと思いました。自分たちの知的財産を守るために、裁判でいかに勝つかという話です。様々な可能性があるなと思っています。

今後の活躍を期待しています。今日は、どうもありがとうございました。